

## 三学期は「一年の締め」の学期」「ゼロ学期」

新年明けましておめでとうございます。2019年（平成31年）がスタートしました。

今年は、新元号になる年であり、いろいろなことが大きく変化する年となるでしょう。

さて、始業式を迎え「どんな抱負を抱いて登校してきたかな」という思いで見えていました。表情を見ると、ハツラツとした表情、少し辛そうな表情、眠そうな表情等が見られ、決意を新たに登校した生徒、そうでなかった生徒、それぞれだったのではないのでしょうか？

三学期は、3年生は46日、1・2年生は54日と1年の内で一番短い学期ですが、「一年の締め」と「次年度の準備」をしなければならない大切な学期です。まずは、1年の反省をしっかりとすること、そして、1年生は先輩になる準備（自覚）、2年生は最高学年になる準備（誇り）、3年生は次のステップへ進む準備（高校受験）です。心を落ち着かせ、いい準備をし、ベストを尽くせるようにしましょう。



## 名物監督の真意「男だろ！」

新年の風物詩である箱根駅伝、毎年、筋書きのないドラマが繰り広げられています。今年で第95回大会となり、前評判で優勝候補筆頭だった青山学院の連覇を阻止し、東海大学が初優勝を飾りました。往路・復路・総合それぞれ違う学校が優勝し、最後まで熾烈な戦いが繰り広げられました。

箱根駅伝には「名物監督」がいます。最近では青山学院の原晋監督はテレビ等でおなじみですが、駒澤大学の八木弘明監督も名物監督のひとりです。八木監督は、過去に「男だろ！」と叫んだことで有名です。問題になりそうな発言ですが、監督は「人を動かすのは、情熱と本気」と話しています。レースが始まったら、後は精神が左右します。そんな中で、選手にとって何より励みになるのは、本気で向き合ってくれた監督の一言なのでしょう。言葉だけとらえて問題にするのは簡単ですが「何を言ったか」だけではなく「どういう意図で言ったか」も考えたいですね。



## インフルエンザ流行の兆し

校内でもインフルエンザ罹患者が増えてきています。まずは、手洗い・うがい・換気の徹底を図りましょう。また、人の多いところに行かないことも大切です。そこで、本日、11日（金）から、予防のためのマスク着用を解禁としています。

※ 使用したマスクは、ゴミ箱へ捨てましょう。